

# 日本脳炎予防接種のお知らせ【説明書】

予防接種法に基づき、日本脳炎の定期予防接種を行います。この説明書をよく読み、予防接種の必要性や副反応について理解したうえで接種してください。わからないことは、接種を受ける前に医師に質問しましょう。

## 1 日本脳炎について

日本脳炎とは、日本脳炎ウイルスの感染によっておこる中枢神経（脳や脊髄など）の疾患です。ヒトから直接ではなくブタの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され感染します。東アジア・南アジアに広く分布する病気です。症状が現れずに経過する（不顕性感染）場合がほとんどですが（感染者100～1000人に1人が発病すると報告されています）、症状が出る場合には、7～10日間の潜伏期間の後に、数日間の高熱、頭痛、嘔吐などで発病し、引き続き急激に、光への過敏症、意識障害（意識がなくなること）、けいれん等の中枢神経系障害（脳の障害）を生じます。脳炎を発症した場合20～40%が死亡に至る病気といわれています。

## 2 副反応について

予防接種により軽い副反応がみられることがあります。予防接種後にみられる反応としては、発熱、咳嗽、鼻漏、注射部位紅斑であり、副反応のほとんどは接種3日後までに認められています。また、極めて稀ですが、重い副反応として、アナフィラキシー症状（ショック症状、じんましん、呼吸困難など）があらわれることがあります。

## 3 対象者

接種日時点で小平市に住所を有する方で、以下の接種期間にある方

※小平市から転出された方は、転入先の自治体で予診票をお受け取りください。

### (1) 第1期

生後6か月から7歳6か月に至るまでの方

（標準的な接種期間は初回接種が3歳、追加接種が4歳になる方）

### (2) 第2期

9歳以上13歳未満（13歳の誕生日の前日まで）の方

【特例】 平成19年4月1日以前に生まれた20歳未満（20歳の誕生日前日）までの方は、特例により、第1・2期が接種できます。詳しくは、市にお問い合わせください。

## 4 接種回数及び接種スケジュール

1期接種は、6日以上（標準的には28日まで）の間隔をおいて2回接種し、その後6か月以上（標準的には概ね1年）経過した時期に1回接種します。

2期接種は、9歳以上13歳未満で1回接種します。1期接種の終了後、概ね5年の間隔をおいて接種します。

|             |                      |             |                      |      |                |    |
|-------------|----------------------|-------------|----------------------|------|----------------|----|
| 1期初回<br>1回目 | 6日以上<br>（標準的には28日まで） | 1期初回<br>2回目 | 6か月以上<br>（標準的には概ね1年） | 1期追加 | 9歳以上<br>（概ね5年） | 2期 |
|-------------|----------------------|-------------|----------------------|------|----------------|----|

## 5 接種方法

小平市の「日本脳炎予防接種予診票」に記入し、予診のうえ、1回0.5m（3歳未満は0.25m）を皮下接種します。

## 6 接種費用

自己負担なし

## 7 接種場所

別紙の「小平市予防接種指定医療機関一覧」をご覧ください。

## 8 医療機関に持参するもの

母子健康手帳、日本脳炎予防接種予診票

## 9 次の方は接種を受けないでください

- (1) 体温37.5度以上の発熱をしている方。
- (2) 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方。
- (3) このワクチンの成分で、アナフィラキシー（ショック症状、じんましん、呼吸困難など）をおこしたことがある方。
- (4) 上記のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある方。

## 10 次の方は接種前に医師にご相談ください

- (1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害等の基礎疾患を有する方。
- (2) 前の予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方又は全身性発疹等のアレルギーを疑う症状のみられた方。
- (3) 過去にけいれん（ひきつけ）をおこしたことがある方。
- (4) 過去に免疫不全の診断がなされている方又は近親者に先天性免疫不全症の者がいる方。
- (5) 本剤の成分に対してアレルギーをおこすおそれのある方。

## 11 接種前の注意

- (1) 医療機関へ予約をしてから接種に行ってください。
- (2) 接種前日は入浴やシャワーをさせ、体を清潔にしましょう。
- (3) 予防接種は、体調の良い日に受けてください。
- (4) 接種は保護者同伴で接種しましょう。
- (5) 予診票は医師が接種の可否を判断するための大切な情報となりますので、正確に記入してください。

## 12 接種後の注意

- (1) 接種後30分間は、ショックやアナフィラキシーがおこることがありますので、医師とすぐ連絡が取れるようにしておきましょう。
- (2) 接種当日は入浴をしても差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。接種部位は清潔に保ってください。また、いつも通りの生活をし、はげしい運動は避けてください。
- (3) 接種後に高熱やけいれんなどの異常が出現した場合は、速やかに医師の診察を受けてください。接種後1週間は体調に注意しましょう。また、接種後、腫れが目立つときや機嫌が悪くなったときなどは医師にご相談ください。

## 13 予防接種健康被害救済制度（市にご相談ください）

一般的に、ワクチン接種では、副反応による健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が、極めて稀ではあるものの避けることができないことから、救済制度が設けられています。

救済制度では、予防接種を受けた方に健康被害が生じた場合、その健康被害が接種を受けたことによるものであると厚生労働大臣が認定したときは、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）を受けることができます。

問合せ 小平市健康福祉部健康推進課

〒187-0043 小平市学園東町1-19-12 （小平市健康センター内）

電話：042-346-3700 Eメール：vaccination@city.kodaira.lg.jp